



ひとづくり まちづくり 雄島まち協

海と緑と史跡に恵まれた おしま

人と地球と夢を大切にするまち

雄島まちづくりだより

第35号

令和7年（2025）10月

令和7年度 上半期各種事業報告!!

TOPICS

東尋坊愛のマラニック

能登災害ボランティア

サーフィン体験

海からのおくりもの2025

雄島小学校創立150周年記念事業

海からのおくりもの 2025

2025
5/31

東尋坊愛のマラニック 宿エイド協力

令和7年5月31日(土)に開催された、『東尋坊愛のマラニック』で宿のエイド協力を行いました。本年は猛暑だったここ数年と違い、雨天の心配がありましたが、主に曇りで時折少しの雨に降られる程度で済みました。但し参加者の話では向かい風が強く、それが辛かったとの声をよく耳にしました。また本年は、東尋坊の再整備工事が行われていて、ゴールも東尋坊でなく三国海浜自然公園でした。雄島を渡り、折り返して、ゴールを目指す行程です。宿のエイドは最後から二番目のエイドであり、15時50分までのタイムリミットが設けられている最終閉門のあるポイントです。そして例年同様、まち協スタッフで杏仁豆腐やスポーツドリンクなどを提供しました。この先、雄島こども園(東尋坊レーダー)付近までの間は、きついゴール前の登り坂があるので、参加者が最後まで頑張れる休憩場所になればと思いながら、宿エイド協力を行いました。



2025
6/8

能登災害ボランティア



天候にも恵まれ令和7年6月8日(日)、令和6年の能登半島地震並びに奥能登豪雨の被災地支援事業として、未だ復旧がままならない輪島市の横地第一仮設団地(河原田小学校避難所)に炊き出しのボランティアに行ってきた。焼きイカと焼きそばをふるまいましたが、その他にも安島の海人さんより「皆さんに食べて貰ってください」と託された「粉わかめ」の細かい部分「めのこ」を配布したり、hana hana コーヒーより「能登のみなさんに飲んで貰ってください」と託されたブレンド珈琲「虹のむこう」を心込めて点てさせていただきました。炭で焼いたイカや焼きそばも皆さんに喜んでいただき「美味しかったよ」「嬉しいわあ」「ありがとう」の言葉に、我々こそ「ありがとうございました」と実感した一日になりました。



2025
7/9・10

サーフィン体験 雄島小学校 出前参加事業

雄島小学校の児童を対象にした、恒例のサーフィン体験(雄島まち協の出前参加事業)が、7月9日(水)・7月10日(木)の午前、快晴の中、三国サンセットビーチで行われました。

9日は6年生が対象で、昨年の体験をもとに、より一層、波に親しみサーフィンを楽しんでいました。

10日には5年生が行い、6年生に負けず劣らずサーフィンに熱中していました。また後半には昨年同様、近くで三国サンセットビーチの海開き式が行われていて、神事後、式の参列者と一緒に稚貝の放流も行いました。



2025
8/23

海からのおくりもの2025

今年も多くの方の協力の元、子ども達を中心に楽しんでもらおうと、三国のヨットハーバー、並びにサンセットビーチ等で開催しました。本年は新しくユニバーサルビーチ体験が追加され、水に浮く水陸両用の車イスが砂浜に登場しました。昨年までの各種体験は今年もあり、その内のいくつかには健常者だけではなく、障がいのある方のための福祉枠も設けました。普段は海での遊びに抵抗がある方々にも、この事業を通して海の楽しさや素晴らしさを少しでも体験してもらいたいとの思いからの試みで、当日は多くの方に喜んでいただいたのではないかと思います。

その後の大試食会では、ワカメの粉をつけたおにぎりや、サザエのつぼ焼き、ところてんなどがあり、参加者たちは地元の食材に舌鼓をうちました。試食会の傍の焼き場では、サザエのみならずイカや、今年は漁師体験で大量だった魚などが炭火で焼かれて、皆に提供されました。

また大試食会の会場の近くでは、地元の海女さんが海からとってきた生き物が入った小さい水槽のミニミニ水族館も用意されました。また、特に定員を定めず、誰でも自由に楽しんでもらう形で、風あげや砂遊び、水鉄砲なども用意させていただきました。



日付 2025.11.16 (日)

会場 雄島小学校

時間	内容
8:20	式典開始
9:20	式典終了
9:40	三国中学校・三国高校吹奏楽部 演奏
10:40	キッチンカー・お祭り広場・展示イベント
11:10	神輿会場入場
13:00	お菓子まき 数回に分けて実施
15:00	閉会式典 終了

※ どなたでも記念式典から参加できます
 ※ 現在の案ですので変更になる場合があります。

雄島地区の神輿が集結!!

キッチンカーや
お菓子まきもあるよ

みなさん、
どうぞお越しください!



編集後記

昨年発生した能登半島地震と同地の水害。一年半以上経過した現状でも依然復旧はままならず、雄島まち協はこの6月に被災地支援事業として、輪島市へ炊き出しのボランティアに訪れました。災害発生時から、何か手を差し伸べることができないかと模索し、遅ればせながら今年に至った次第です。まちづくり協議会と言っても自身の住まう町だけを考える訳ではない活動です。

また恒例の「海からのおくりもの」では、これまで同様子ども達を対象にするだけでなく、障がいのある方々にも海の素晴らしさを体験してもらう新しい試みを設けました。

これらの上半期の事業内容でも分かるように、雄島まち協は広く社会を考える様々な事業に取り組んでいます。そうすることで自身の活動に、色々な角度からフィードバックされ、結果的にはより厚みのある豊かな「まちづくり活動」に繋がるのではないかと考えるからです。

(M)

同日会場で、
第4回 雄島地区のお宝写真コンテストの
展示審査も開始されます。

雄島フォトコンの展示審査期間は

2025年11月16日(日)～2026年1月16日(金)

初日以降は「雄島コミュニティセンター」にて投票を受付けています。

発行者 雄島地区まちづくり協議会 令和7年10月9日発行

〒913-0056 坂井市三国町宿 2-3-45 雄島コミュニティセンター内

電話/FAX : 0776-82-3553

E-Mail : town.oshima.k@gmail.com

WEB サイト : <https://oshima-machikyo.jp/>facebook : <https://www.facebook.com/oshimamachikyo>

☆まちづくり協議会への地区の皆様の
活発なご意見をお待ちしています。